

報道関係各位

universal sound design®

2016年9月29日

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

卓上型対話支援システム「comuoon®」、2016年度グッドデザイン賞を受賞
～使用時の利便性向上や収納性が評価され、「グッドデザイン・ベスト100」にも選出～

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社(本社:東京都港区 代表取締役: 中石 真一路、以下『ユニバーサル・サウンドデザイン』)は、このたび、当社が開発・販売している卓上型対話支援システム「comuoon®(コミュニケーション)シリーズ」において、2016年度グッドデザイン賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

comuoon®は、聞こえにくい環境において音声コミュニケーションを支援する製品として、話者側からのアプローチを実現した世界で初めての卓上型対話支援システムで、2013年12月のデビュー以降、対話支援の世界における新しいトレンドとなっています。現在では、学校や病院、福祉施設、一般企業、行政機関など、全国各地約2,600ヶ所以上の施設でご利用いただいております。

このたび、comuoon®使用時の利便性向上や収納性について審査委員会により高く評価されたことに加え、さらには今回の受賞対象の中でも、特に明日を切り拓く力を持ち、未来を示唆するデザインを兼ね備えたものとして、「グッドデザイン・ベスト100」にも選出されました。

今後もユニバーサル・サウンドデザインは、聴こえのバリアフリー社会の実現に向けて、あらゆるシーンでコミュニケーションを支援してまいります。



評価者コメント

第一世代のコミュニケーションは、子供から高齢者までの多くの難聴者に聴こえる体験を提供した、彼らに明るい希望を与えた機器だっただろう。特別な機器だったコミュニケーションを、より人々の生活の中に組み込んでいくためのデザインが、今回の製品では施されている。利用シーンを広げるワイアレスマイクへの対応、使われない時間の存在感に配慮した収納性の向上など、ユーザーニーズを丁寧に拾い上げた改良に対して審査員の評価が高かった。

「comuoon®」について

「comuoon®」は、聴こえが気になる方に対して、話者側から歩み寄るというコミュニケーション支援の新しい形を実現した、卓上型会話支援システムです。補聴器のように従来の”聴き手”側のみの問題に焦点を当てるのではなく、”話し手”の声を聞きやすい音質に変換しコミュニケーションを支援します。

「話者側からのアプローチ」というアイデアと利便性、使い勝手の良さが評価され「2014 年度 グッドデザイン賞ベスト100」を受賞しました。

「comuoon®」の活用による「聴こえのユニバーサルデザイン」は、医療機関や療育機関、金融機関を中心に2,600ヶ所以上の施設で導入しています。(2016年8月時点)。

グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞は、様々に展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちのくらしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」です。その母体となったのは、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」であり、以来約60年にわたって実施されています。その対象はデザインのあらゆる領域にわたり、受賞数は毎年約1,200件、59年間で約43,000件に及んでいます。また、グッドデザイン賞を受賞したデザインには「Gマーク」をつけることが認められます。「Gマーク」は創設以来半世紀以上にわたり、「よいデザイン」の指標として、その役割を果たし続けています。

詳細 URL: <http://www.g-mark.org/>



《会社概要》

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

- ・ 設 立 : 2012 年 4 月
- ・ 資 本 金 : 111 百万円
- ・ 代 表 者 : 代表取締役 中石真一路(なかいし しんいちろう)
- ・ 所 在 地 : 東京都港区海岸 1-9-11 マリンクス・タワー2F
- ・ 事 業 内 容 : ・聴こえ支援機器の設計・開発・販売
 - ・各種店舗、建築物および室内空間のサウンドデザイン企画、制作コンサルタント業
 - ・スマートフォンアプリケーションの設計・デザイン・開発
 - ・スピーカーおよびアンプなどの音響機器の設計・製造・販売
 - ・PA および SR 用音響機器の改修および修理